

令和4年 第2回金沢市教育委員会定例会議

1 日 時：令和4年2月16日（水） 13時30分～15時00分（予定）

2 場 所：金沢市役所 第二本庁舎 2階 2201会議室

3 審議等

頁

議案第2号 令和4年度 金沢市教職員研修の基本方針（案）について

（学校教育センター）・・・1

報告第5号 新型コロナウイルス感染症による児童生徒の発生状況および「まん延防止等重点措置」の適用を踏まえた金沢市立学校の対応等について

（学校指導課）・・・4

報告第6号 金沢市スポーツ推進計画の改定について

（スポーツ振興課）・・・7

その他

（1）次回の定例会議の日程について

令和 4 年度 金沢市教職員研修の基本方針（案）について

令和 4 年 2 月 16 日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

令和4年度 金沢市教職員研修の基本方針（案）について

1 金沢市教職員研修の基本的な考え方

教員育成指標に基づき、学校を取り巻く諸課題に対応できる豊かな専門性、幅広い社会性、実践的指導力等、教職員に求められる資質・能力と金沢型学習スタイルに基づく授業を実現する指導力の育成を目指す教職員研修を実施する。

2 令和4年度金沢市教職員研修の重点

教員の授業力を高め、児童生徒の学力向上を図るとともに、新たな課題に対応するために、以下の項目を重点として取り組む。

- (1) 教員育成指標に基づき、キャリアステージに応じた研修の充実を図る。
- (2) 若手教員を育成するために、校内における組織的・体系的な研修及びOJT等の充実を図る。
- (3) 新学習指導要領への対応と金沢型学習スタイルに基づく授業改善に向けた研修の充実を図る。
- (4) 今日的な課題に対応するために、ICT活用をはじめとして、専門的知識や実践力を高める研修の充実を図る。
- (5) 教職員が本務に専念する時間を確保しつつ、教職員や学校のニーズに応じた研修の充実を図る。

令和3年度 金沢市教職員研修の実施状況について

1 教職員研修実施状況（2月実施見込みを含む）

種別	R 3	実施方法		R 1 対面（集合等）
		対面（集合等）	オンライン	
1 人材育成	67 講座（3,330人）	40 講座（1,969人）	27 講座（1,361人）	67 講座（3,456人）
2 授業力の向上	28 講座（1,066人）	1 講座（14人）	27 講座（1,052人）	20 講座（1,033人）
3 重要課題への対応	10 講座（376人）	4 講座（120人）	6 講座（256人）	10 講座（419人）
4 専門的知識・技術の向上	25 講座（1,497人）	13 講座（676人）	12 講座（821人）	25 講座（1,433人）
5 個別支援型研修の充実	26 講座（2,349人）	21 講座（2,221人）	5 講座（128人）	28 講座（642人）
合計	156 講座（8,618人）	79 講座（5,000人）	77 講座（3,618人）	150 講座（6,983人）

2 法定研修実施状況

（1）初任者研修

・受講者 70人（小38人、中26人、高2人、養護1人、事務3人） ・校外研修講座数 30講座

（2）中堅教諭等資質向上研修（採用から11年目）

・受講者 83人（小52人、中25人、高2人、養護3人、栄養1人） ・校外研修講座数 8講座

3 G I G Aスクール推進のための手立て

（1）全小中学校における「ICT活用指導力向上研修」

（2）1人1台端末活用研修「ミライシード研修」「Google プレ研修」「Google コア研修」

（3）事例・教材共有ポータルサイト「ミライシード・ラボ」を活用したオンデマンド配信

学校教育センター掲載資料 約900本

・学校教育センター作成の研修教材、研修動画 ・教職員支援機構及び文部科学省の研修教材、研修動画

・公開研究発表会等の学習指導案（令和3年度公開研究発表会の学習指導案約200本を新たに掲載）

新型コロナウイルス感染症による児童生徒の発生状況および
「まん延防止等重点措置」の適用を踏まえた金沢市立学校の対応等について

令和4年2月16日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

**新型コロナウイルス感染症による児童生徒の発生状況および
「まん延防止等重点措置」の適用を踏まえた金沢市立学校の対応について**

1 児童生徒の発生状況（令和3年度）

令和3年4月1日から令和4年1月31日までの期間において、金沢市立学校で新型コロナウイルス感染症の陽性となった児童・生徒数は次のとおりである。

	児童・生徒数										計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
小学校 (学校名を公表したもの)	2人	5人	2人	2人	0人	3人	0人	0人	0人	85人	99人
中学校 (学校名を公表したもの)	0人	6人	2人	5人	3人	4人	0人	0人	0人	25人	45人
市立工業高校	4人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	11人	16人
学校名公表せず	2人	12人	1人	27人	106人	11人	1人	0人	0人	213人	373人
計	8人	24人	5人	34人	109人	18人	1人	0人	0人	334人	533人

2 金沢市立学校の対応について（令和4年1月24日時点）

1月23日、本県の感染状況等に関するモニタリング指標が「レベル2（感染拡大警報）」に移行し、加えて、1月27日から本県全域を対象に「まん延防止等重点措置」が適用される中、市立学校では次のように対応する。

（1）学校における通常授業の継続に向けて

児童生徒の学びを保障するため、文部科学省発出のマニュアルによる対応を基本とし、以下の活動は行わない。

- ・児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク
 - ・近距離で一斉に大きな声で話す活動
- など

（2）臨時休業となった際の学習保障について

休業期間の長短に関わらず、学年・教科に応じたオンラインを用いた学習支援に努める。

（3）校外学習について

2月21日（月）までの期間、泊を伴う学校行事、遠足・社会見学等については、期間外に延期、もしくは中止とする。

（4）部活動について

次の点を遵守しながら行う。

- ・2月21日（月）までは他校との練習試合、合同練習等は行わない。
- ・活動場所を学校内等、日頃活動している場所に限定し、活動内容は精選。
平日は1時間程度の活動にとどめ、休日は必要最低限の内容で2時間程度とする。
- ・なるべく個人での活動とし、少人数で実施する場合は十分な距離を空ける。
- ・部活動前や終了後等、生徒同士で食事をすることを控える。

（5）その他の教育活動について

- ・各学校及び地域の実情に応じ、慎重に検討・判断する。実施する場合は、感染症対策を徹底する。
- ・2月21日（月）までに予定している保護者及び地域の方々等の参観や来校する学校行事や学習活動については、児童生徒のみで実施、期間外に延期、もしくは中止する。

金沢市スポーツ推進計画の改定について

令和 4 年 2 月 16 日 提出

金沢市文化スポーツ局
局長 山森 健直

金沢市スポーツ推進計画の改定について

1 改定の趣旨

平成26年度の計画策定後に生じた新型コロナウイルス感染症の感染拡大、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催など社会情勢の変化や、金沢市スポーツ文化推進条例の制定など本市におけるスポーツを取り巻く環境の変化に対応するため、「金沢市スポーツ推進計画」を改定する。

2 経過

・「市民スポーツ基本調査」の実施

調査時期：9月20日～10月10日

調査方法：無作為抽出によりアンケート調査を郵送し回収

調査対象：20歳以上の市民5,000人

回収結果：有効回答数1,825件（36.5%）

・中間見直し作業部会 4回（構成員：スポーツ関係団体の若手職員、スポーツ推進審議会委員等）

・スポーツ推進審議会 3回（8月、11月、1月）

・パブリックコメント 2月10日～3月11日

〔今後〕 スポーツ推進審議会（3月） → 計画改定（3月）

3 改定の概要（案）

（1）計画期間

現計画は、平成26年度に策定した計画（平成27年度～令和6年度）であり、オリンピック・パラリンピック開催後の令和2年度に中間評価を予定していたが、大会延期に伴い、翌年の令和3年度に中間評価と見直しを行うこととなった。これに伴い、計画期間を令和4年度から令和8年度までの5か年とする。

（2）改定後の計画の体系

【目指すスポーツの姿】 「スポーツで人とまちを元気にする」まちづくり

基本調査や中間評価をふまえ、現計画が目標として掲げている「目指すスポーツの姿」や基本目標など、計画の骨格については改定後も維持しつつ、今後取り組む主な施策を追加する。

（主な視点）

- ・コロナ禍で低下したスポーツ実施率の向上を目指し、SNS等を利用したメッセージ発信による意識改革
- ・パラリンピックなどを契機とした共生社会に向けた取組の充実
- ・市民サッカー場再整備などによる「観る」スポーツの充実を通じたまちづくり

改定後の計画（案）の概要

（1）計画の体系と取組の方向性、今後取り組む主な施策（※赤字・下線は、改定部分）

基本目標 1 多様なスポーツに親しむことができる機会の拡大

【5年後（令和8年度末）の姿】

金沢市民の关心や目的に応じて、スポーツを多様に親しむ機会が拡大し、スポーツに親しむ効果が広く市民に理解され、スポーツを愛する市民が増加しています。

市民のスポーツを支援するリーダーや地域スポーツクラブ等のスポーツ関係団体の活動が活性化するとともに、民間スポーツクラブとの連携が促進してスポーツを習慣化する多様なプログラムが増大しています。

また、新しいスポーツ施設の拠点整備や既存施設のリニューアルにより、施設機能が強化され、施設利用の快適性や利便性が向上しています。

その結果、1週間に1回以上スポーツに親しむ市民が3人に2人以上となっています。

取組の方向性① 身近で気軽にスポーツをする機会の充実

〔今後取り組む主な施策〕

改 地域スポーツクラブが提供する多様なスポーツプログラムの支援

- ・ スポーツ関係団体が提供する大会の支援
- ・ かなざわスポーツフェスティバルの開催

改 公民館における多様なスポーツ機会の充実

新 公民館等における対面とオンラインの両方の組合せによる運動の機会の提供

- ・ 学校施設開放の充実

取組の方向性② 市民のスポーツライフを支えるスポーツリーダーの育成

〔今後取り組む主な施策〕

- ・ スポーツ推進委員の機能の強化
- ・ 地域スポーツコーディネーター育成研修の開催
- ・ スポーツリーダー養成講座の開催
- ・ 市スポーツ協会及び加盟団体を通じたスポーツリーダー育成の組織づくり

新 スポーツ文化の推進に貢献した個人や団体を表彰

取組の方向性③ スポーツ関係団体の拡充と連携促進

〔今後取り組む主な施策〕

- ・ 競技スポーツ団体等への支援
- ・ 地域スポーツクラブ等の設立支援
- ・ スポーツ関係団体間における連携の促進

新 スポーツ関係団体の担い手の育成支援

取組の方向性④ スポーツを習慣化するための取組支援

〔今後取り組む主な施策〕

- ・ スポーツを習慣化するプログラムの支援
- ・ 公共スポーツ施設と民間運動施設の有効活用
- ・ 民間スポーツクラブやスポーツ関係団体との連携の強化
- ・ 金沢ウォークの開催
- ・ 運動習慣の形成を促進する広報の充実

新 SNS等を通じたスポーツの推進に関する市民へのメッセージの発信

新 公民館等における対面とオンラインの両方の組合せによる運動の機会の提供（再掲）

取組の方向性⑤ トップスポーツと地域スポーツの好循環の創出

〔今後取り組む主な施策〕

- ・ 市スポーツ協会及び加盟団体を通じたトップスポーツへの支援
- ・ スポーツ大使の委嘱

新 金沢文化スポーツコミッショントップススポーツ観戦の機会の提供

- ・ トップアスリートと市民との交流イベントやスポーツ教室の開催

新 新市民サッカー場を中心としたトップスポーツの観戦機会の提供

取組の方向性⑥ スポーツ施設の拠点整備及び既存施設の計画的改修

〔今後取り組む主な施策〕

- ・ スポーツ施設の拠点整備
- ・ 既存スポーツ施設の計画的改修

取組の方向性⑦ スポーツ施設利用の利便性の向上

〔今後取り組む主な施策〕

- ・ スポーツ施設利用案内予約システムの改良
- ・ スポーツ施設利用時間の効率化
- ・ スポーツ施設利用の快適性向上に向けた機能の強化

- ・ 学校施設開放の充実

基本目標 2 子どもスポーツの充実

【5年後（令和8年度末）の姿】

金沢の子どもたちの誰もがスポーツの楽しさを体験し、その魅力を理解することにより、スポーツへの関心を高め、スポーツに取り組む習慣が身についています。

子どもスポーツの指導者研修が充実するとともに、家族を含めた子どもスポーツを支える仕組みが充実することによって、子どものスポーツをする機会が拡充して、子どもたちの体力が向上しています。

取組の方向性① スポーツ機会の充実による体力の向上

〔今後取り組む主な施策〕

- ・ 「幼児期運動指針」に従ったプログラム開発を支援
- ・ 子どもスポーツ団体への支援
- ・ 子どもの体力測定プログラムの実施

取組の方向性② スポーツの楽しさや魅力が伝わる取組の推進

〔今後取り組む主な施策〕

- ・ スポーツの楽しさや魅力が伝わるイベント等の支援
- 新 トップアスリートとの交流プログラムの提供**
- ・ かなざわスポーツフェスティバルの開催（再掲）
- ・ 公民館などの地域スポーツ活動へのスポーツ指導者派遣支援
- 新 屋内交流広場（あめるんパーク）を活用した運動やスポーツ体験の提供**

取組の方向性③ スポーツ指導者育成の充実

〔今後取り組む主な施策〕

- ・ 子どもを指導するスポーツ指導者を対象とした研修プログラムの支援
- ・ 子どものスポーツ実施ガイドラインの策定への支援

基本目標 3 スポーツ交流を通じたまちづくりの促進

【5年後（令和8年度末）の姿】

スポーツが人を育て、スポーツがまちづくりを促進する意識が共有され、スポーツを支援する個人と組織が増加しています。

金沢マラソンや東京オリンピック・パラリンピックの開催効果が実感されるとともに、**金沢文化スポーツコミッショナ**を活用した各種スポーツ交流事業が拡大しています。また、地元プロスポーツチームの活躍とそれを応援する市民の輪が広がり、スポーツとまちづくりの融合が推進しています。

その結果、金沢市民のスポーツへの関わり方が拡大し、スポーツをする人、スポーツを見る人、スポーツを支える人、などが互いに尊重し合い協力することによって、スポーツの発展がまちづくりに寄与することが広く理解されています。

取組の方向性① スポーツ交流事業の促進

〔今後取り組む主な施策〕

- ・ 多様なスポーツ交流を促進する市民組織の支援
- ・ スポーツを通じた都市間交流事業の促進
- ・ スポーツを通じたまちづくり活動の支援
- ・ スポーツ情報の集約と受発信拡大のための取組支援

取組の方向性② スポーツボランティアの育成と機会の充実

〔今後取り組む主な施策〕

- ・ スポーツボランティア研修会の開催の支援
- ・ スポーツボランティアの活躍する場の提供促進

取組の方向性③ 地元プロスポーツへの支援拡充

〔今後取り組む主な施策〕

- ・ プロスポーツ応援デーの開催
- ・ プロスポーツチームの広報活動への支援
- 改 サポーター等と連携したプロスポーツの支援**

取組の方向性④ 金沢マラソンの継続開催

取組の方向性⑤ 金沢文化スポーツコミッショナを通じたスポーツイベントの誘致

〔今後取り組む主な施策〕

- 新 金沢文化スポーツコミッショナを通じた金沢ならではの文化スポーツイベントの誘致**
- ・ 大型スポーツイベントやスポーツ合宿の誘致
- ・ スポーツツーリズムの展開

取組の方向性⑥ 東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを活かしたスポーツ交流の促進 [改]

〔今後取り組む主な施策〕

- 新 オリンピック・パラリンピックホストタウン事業の成果を通じた国際交流**

取組の方向性⑦ スポーツに関する情報等の提供と活用

〔今後取り組む主な施策〕

- ・ 医科学等の高等教育研究機関との連携によるスポーツ情報の提供
- ・ スポーツに関する統計データの集約と提供
- 新 金沢市スポーツ遺産の認定と情報の発信**

金沢市スポーツ推進計画改定版（骨子案）

基本目標 4 障害のある人等のスポーツ活動の促進と環境の整備

【5年後（令和8年度末）の姿】

障害のある人やスポーツに参加しづらい人のニーズに応じた配慮が拡大するとともに、高齢者スポーツ団体、パラスポーツ団体、女性スポーツ団体等との連携が図られ、誰もが活躍できる共生社会の実現に向け、スポーツに親しむ環境が整備されています。

取組の方向性① 市とスポーツ関係団体等との連携による環境の整備

〔今後取り組む主な施策〕

- ・ スポーツ施設のバリアフリー化の拡大
 - ・ スポーツに参加しづらい人へ配慮したプログラムの提供
- 新** 経済的に困難を抱える世帯等の子ども向けのスポーツ体験支援
- ・ スポーツ関係団体との連携強化

取組の方向性② 障害のある人とない人がともにスポーツに親しむ機会の充実 **〔新〕**

〔今後取り組む主な施策〕

- 新** パラスポーツへの市民の理解促進プログラムの実施
- 新** 障害のある人とない人がともに参加する「ゆるスポーツ」等の普及

(2) 改定後の施策の推進体制

計画の推進にあたっては、引き続き、市民、スポーツ関係団体、行政がそれぞれの役割を担いながら、協働で取り組むこととします。

市民の目標

- ・ 本計画の趣旨を理解し、スポーツに主体的に取り組みます。
- ・ スポーツの推進のため、関係諸団体に協力して取り組みます。

スポーツ関係団体の努力

- ・ 広報活動に協力し、計画の周知と目標達成に協働連携して取り組みます。
- ・ 本計画が実現できるよう、関係諸団体とのネットワークを形成し、計画の推進に協力して取り組みます。

市の責務

- ・ 各年度の具体的取組課題を示したロードマップを作成し、計画的かつ確実に実現できるよう取り組みます。
- ・ 本計画の目標が広く市民に理解され、広く周知される広報活動に取り組みます。
- ・ 本計画が確実に推進されるよう評価項目を定めるとともに、定期的な点検を実施します。